

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるような、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	14	・一人一人の人格尊重・プライバシー保護の視点から生活全般を見直し、質の高いサービスの提供に努めること。	・一人一人の人格を尊重し、自分らしく豊かに生きられるよう、日々の生活全般を見直し支援する。 ・利用者・家族の立場から、きめ細かく見つめ直して、個々に応じた支援を工夫する。	・個の尊厳とプライバシーの確保について、日常的に配慮して実践に取り組む。 ・職員の人権感覚を高め、一人一人が課題意識を持って、言葉掛けや対応をする。	毎日常～継続	・ベッドの防水シートは、一人一人に応じた使い方を検討し、改善している。 ・浴室の透明ガラスにシールを貼り、浴室内が見えないようにした。
2	18	・利用者の多くが80代後半の超高齢者であり、歩行困難者が多い現状であるが、積極的に地域に出かけ、見学や人との交流等の機会を更に多く持つこと。	・地域に出かけ、自然・人に触れたり、行事等に参加したり、豊かで楽しい生活の実現を図る。 ・地域の人々の理解と支援を得て、福祉社会で共に生きる、地域に根差したホームとする。	・行事参加、日常外出等で新たな刺激に触れ、心地よい感情体験をする。 ・地域の人々の理解と協力が得られるよう職員が積極的にでかけ、情報収集や交流を図る。	3 か月	・日常外出、参加できる行事を、利用者様の現状を考え検討した。 ・11月の運営会議で利用者の行事参加や情報提供を依頼した。
3	6	・家族の来訪が日常的になってきているので、コミュニケーション等はできているが、今後は家族間での話し合い・交流の場作りを更に推進すること。	・家族間同士、又、家族と職員が話し合う機会を多くとり、家族の意見や要望の収集に努め、家族と一体となってその人らしい生活の実現を目指す。	・レクルームを家族様に自由に開放し、家族間で話し合う場を提供する。 ・家族と職員との交流、報告・相談・連絡等の機会を増やし、意見や要望を真摯に聴き、思いや願いの実現に向けて最大限の努力をする。	3 か月	・日々の面会時にご家族様に近況報告をし、家族様から得た情報を支援に生かしたり、ケアプラン等に活用している。
4	13	・災害時には、病院・ホームの施設や機能を活用できるので、地域の住民や機関に災害時の活用について、積極的に働きかけること。	・多様な災害状況を想定して訓練を重ね、万が一に備える。 ・職員一人一人の危機意識を高め、利用者様の命を守り抜く実践力を高める。 ・施設でできることについて、地域に知らせる。	・多様な場面を想定した避難訓練を実施する。 ・避難訓練は家族や地域の人に参加を呼びかけ、色々な立場から意見を聞き、多様な視点で検討・改善する。	6 か月	・防災管理者講習、救命救急講習の受講。 ・12月上旬に防災扉の設置工事を実施。 ・運営委員会で地域の為にできることを伝えた。
5	2	・開設以来、当ホームでは積極的に取り組んできたが、今後は人との交流のみならず、介護サービス等の提供を図り、地域の施設としての責任を果たすこと。	・地域の行事等に積極的に参加し、交流を活発化する。 ・当ホームの機能やサービス情報を提供し、地域のニーズに応じて、ホーム内外でのサービス提供をする。	・地域について多面的な情報把握と、キーマンの開拓を図る。 ・地域参画できる内容の検討、交流を積極的に行う。 ・まずは職員が地域への積極的参加に努めると共に、各自の特技を生かした地域貢献をする。	6 か月	・11月の運営会で、ホームの今後の取り組みについて話し、協力を依頼した。 ・ホーム発信の文書、アンダンテだより等で知らせた。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/>	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者へサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/>	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="checkbox"/>	その他()
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/>	自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/>	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/>	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/>	その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="checkbox"/>	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/>	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/>	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/>	その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="checkbox"/>	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	その他()
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/>	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="checkbox"/>	その他()